

大隈体育館改修進捗報告等について

令和4年6月21日

嘉麻市地域活性推進課

体育館改修のコンセプト



◆大隈体育館改修の必要性

大隈体育館は平成2年に建築され、すでに除却された大隈小学校校舎（昭和40年建築）と比較しても新しく、十分に活用できる建物である。

ただし、活用するには一定の改修が必要となる。このような中、体育館については社会体育施設のための利用のほか、体育施設のない大隈城山校の授業、災害時の避難所等においても使用されていること、また、これまでのワークショップや地域整備基本計画等において嘉穂庁舎跡地、大隈小学校跡地全体の観光、文化、定住等の促進に関する考え方がまとめられ、令和2年12月議会の「まちづくりに関する調査特別委員会」において「大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用基本計画」を報告した。

◆設計のコンセプト

（１）地域活性化拠点となる多目的施設

体育館は大隈城山校の授業の一環として活用しているが、改修後活用用途が変更となっても、１階アリーナ部分は多目的ホールとして一定の教育の場が確保できるように検討する。

また、災害時の一時避難所として大隈体育館を活用し、嘉穂支所と連携した災害時の活動拠点や、大規模災害時には公園、広場スペースを活かした広域防災拠点としての活用も可能となる。

さらに、嘉穂庁舎跡地、大隈小学校跡地及び大隈体育館を一体として活用することにより、地域の人々が集い、賑わいが生まれる、地域の活性化拠点とする。

【多目的施設としての活用】

- 大隈城山校の教育活動として継続的な利用
- １階アリーナは多目的ホールとしてイベント等にも活用
- 災害時の一時避難所としての活用
- 大規模災害時には公園、広場スペースを活かした広域防災拠点
- 地域の人々が集い、賑わいが生まれる、地域の活性化拠点

（２）黒田武士をテーマとした大隈町周辺の街並みを活かした展示施設

黒田武士の里のコンセプトのもと、大隈町周辺の街並みを活かし、陣羽織はもとより、麟翁寺に現存する母里太兵衛友信公の墓及び甲冑の見学や、益富城址を含めた回遊など一体的な街歩きを行うことにより観光客を呼び込むための情報発信及び観光促進拠点とする。

また、大隈体育館２階部分については、黒田武士のコンセプトに沿った展示施設とすることで、街歩きと一体となった大隈地域の歴史を学ぶことができる。

【展示施設としての活用】

- 嘉穂地域整備の方向性である観光・文化・歴史のコンセプトに沿った活用
- 情報発信及び観光促進拠点としての活用
- 黒田武士のコンセプトに沿った大隈地域の周辺寺社、酒造等のまち歩きによる観光客の誘致
- 黒田武士をテーマにした歴史文化財の展示

経過

- ①平成24年5月～平成25年3月
嘉穂小学校開校準備審議会
統合小学校の跡地利活用について
- ②平成26年8月～平成28年12月
大隈小学校跡地活用委員会
大隈小学校跡地利活用についての検討
- ③平成29年6月～平成29年12月
嘉穂地域整備協議会
地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること
- ④令和2年5月11日～令和2年6月10日
パブリックコメント実施期間
(意見提出件数18件)
- ⑤令和2年7月26日(日)
意見交換会
(参加者33名 意見提出者8名)



①平成24年5月～平成25年3月

嘉穂小学校開校準備審議会（行政区長、PTA、学校関係者、有識者で構成）

統合小学校の跡地利活用について

＜基本的な考え方＞

学校跡地については、住民の意見、利活用案の類例等を参考に、短期的な観点又は長期的な観点にたって有効な利活用を積極的に図ること。

＜重要事項＞

- 生涯学習の拠点や避難所等として、地域にとって重要な社会施設が保たれること。
- 短期的には学校開放施設について、使用方法等が激変しないよう配慮すること。
- 短期的利活用のみでなく、長期的な観点にたった跡地利活用計画を策定することが重要であること。
- 市（地域）の活性化に繋がるよう跡地利活用計画を早急に策定し実施すること。
- 跡地利活用計画の策定においては、「5校のネットワーク化」の効果について再確認するとともに、今後の検討時においても、十分に検討できる体制の構築に留意すること。
- 管理・運営については、住民との協働の観点により検討することを基本とするが、必要な行政支援について検討が望まれること

②平成26年8月～平成28年12月

大隈小学校跡地活用委員会（行政区長、歴代PTA、区長推薦者）

大隈小学校跡地利活用についての検討

- 開発：小学校跡地だけでなく、周辺公共施設も含めた一体的な開発による工業団地化、住宅団地化を民間の力により行う。

○公園：国道322号の開通状況や、自然環境、文化財などの観光資（観光）源を活かすための観光施設や公園の整備。

○教育：城山校を嘉麻市にしかない特色のある学校にし、学生のいる世帯の流出を防ぎ定住化を図る。

○防災：嘉穂地域の人みんな避難できるような防災センターの建設。支所機能も含めた複合施設とする。

③平成29年6月～平成29年12月

嘉穂地域整備協議会（区長、PTA、教育委員、関係団体、公募委員、有識者等）

地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること

○嘉穂地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること。

○嘉穂庁舎敷地や旧大隈小学校敷地を有効活用した、商業や農林業、観光、定住促進拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を模索しながら住みたいまち、住み続けたいまちと思えるような地域整備を行うこと。

○嘉穂地域の自然環境や歴史、文化の特性をいかし景観に沿った地域づくりを行うこと。

④令和2年5月11日～令和2年6月10日

パブリックコメント実施期間（意見提出件数18件中 主な意見）

○体育館1階は基本計画通り多目的使用。2階は観光拠点にし、旧嘉穂町の観光資源である陣羽織や年代別の文化遺産を展示する。

○観光拠点にガイドを配置し、お寺・神社・酒蔵巡りの企画。

○大隈地区を整備することにより観光拠点施設や地域コミュニティの場所として有効活用

○体育館を体育関係に主を置かず、いろんな団体が活用出来る多目的対応できること。

○屋内運動場の機能が引き続き残されること、災害時の避難所として整備すること。

⑤ 令和2年7月26日（日）

意見交換会（参加者33名 意見提出者8名中主な意見）

○文化財の保護については、一日も早く、多くの文化財を有効活用してもらうよう検討してほしい。

○嘉穂支所と大隈体育館の一体的な防災対応について検討してほしい。

○展示施設のコンセプトはストーリー性を持った展示内容とすること。

以上の意見を最大限反映し計画策定



大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地
利活用基本計画（令和2年10月策定）

（令和2年12月議会 まちづくりに関する
調査特別委員会において報告）

大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用
基本計画



令和2年10月

嘉麻市

外観パース図

改修施設について



- 利活用キーワード
 - ・観光
 - ・歴史・文化
 - ・定住
- 整備の方向性
 - ・総合支所への道路整備
 - ・大隈体育館改修（観光、文化、多目的施設）
 - ・公園、広場等（※広場については民間事業者活用も検討）
 - ・駐車場
 - ・近隣寺社に一部売却



※検討事項

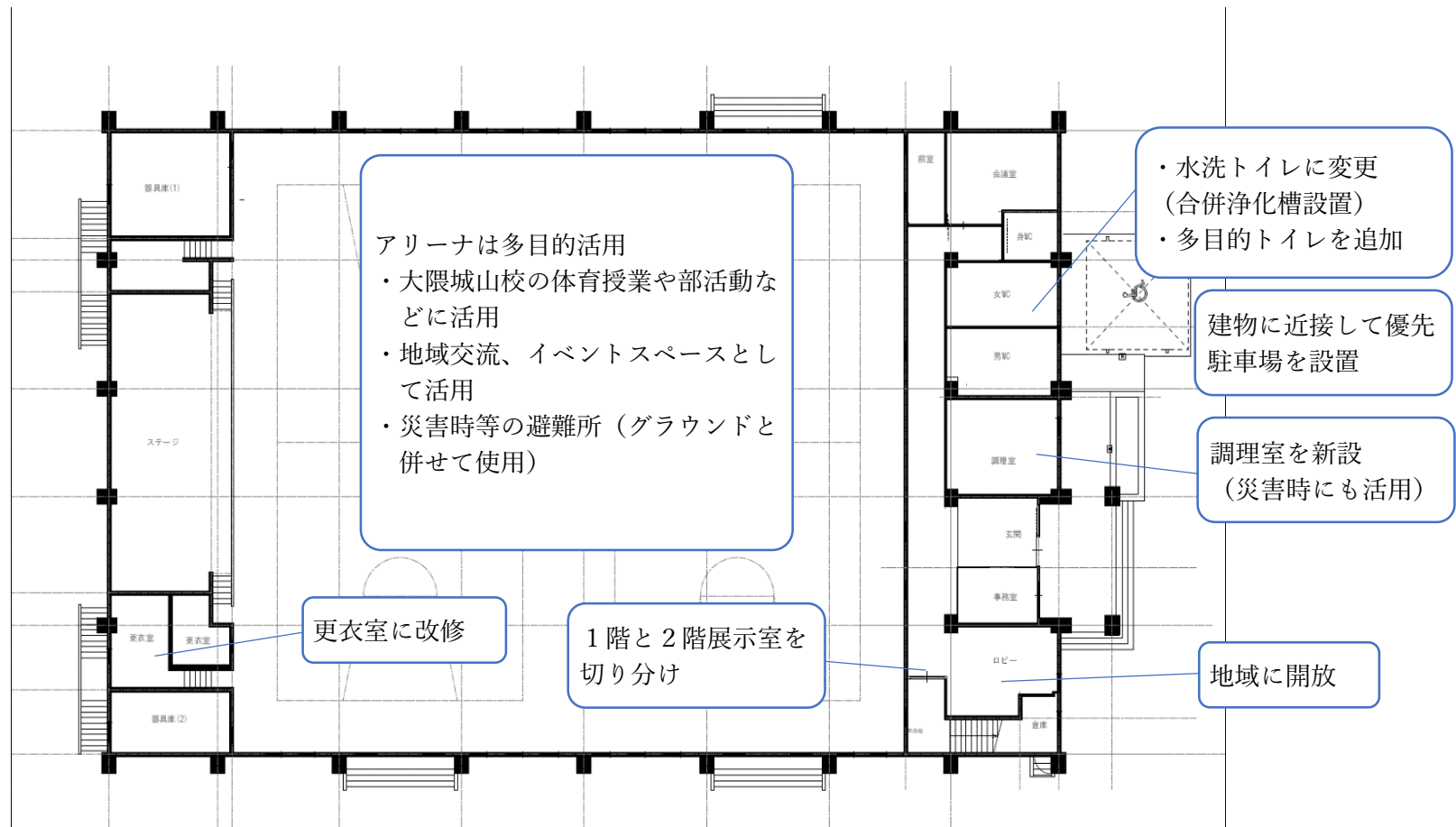
- ・新施設の設置条例について、関係課（生涯学習課・スポーツ推進課・地域活性推進課）において協議中。
- ・補助金・交付金の申請について検討中。
- ・予算提案時期について検討中

スケジュール

◆スケジュール	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本計画	→ 策定			
大隈体育館設計		→		
体育館改修工事			→	→
道路整備			→	→

改修内容（1F）

- アリーナは多目的活用するための改修
- 災害時の避難所を想定したトイレ改修（合併処理浄化槽設置）
- 大規模災害時の避難所運営等を想定した調理室を新設



1 階改修基本計画に配慮した設計内容

○用途変更区分による電気設備及び消防設備について

- ・大隈体育館は小学校の用途を展示場付体育館の用途に変更するため、用途に対応した防火区画、消防設備に関して消防署と協議を行いました。

○保管庫の規模、機能設定について

- ・2階の展示場に設置予定の保管庫の規模、設備機能（消火、防犯）については、保管する文化財等によるため基本設計時において再度、文化財担当課と調整を行いました。

○外壁・屋根等の大規模修繕調査及び設計について

- ・基本計画における外壁・屋根改修費は、目視による概算事業費算出のため、基本設計・実施設計時においては再度詳細な調査を実施しました。

○合併浄化槽を災害時の簡易トイレ設置について

- ・本改修計画では、トイレを水洗化とするため合併浄化槽を設置します。この合併浄化槽を活用し、災害時における簡易トイレの設置については、保健所と協議を行いました。

○防犯、防災のセキュリティーについて

- ・体育館スペースと展示場スペースの管理形態や運営方法を明確にし、防犯・防災に関して関係機関との協議を行っています。

1 階改修に伴う今後の検討事項について

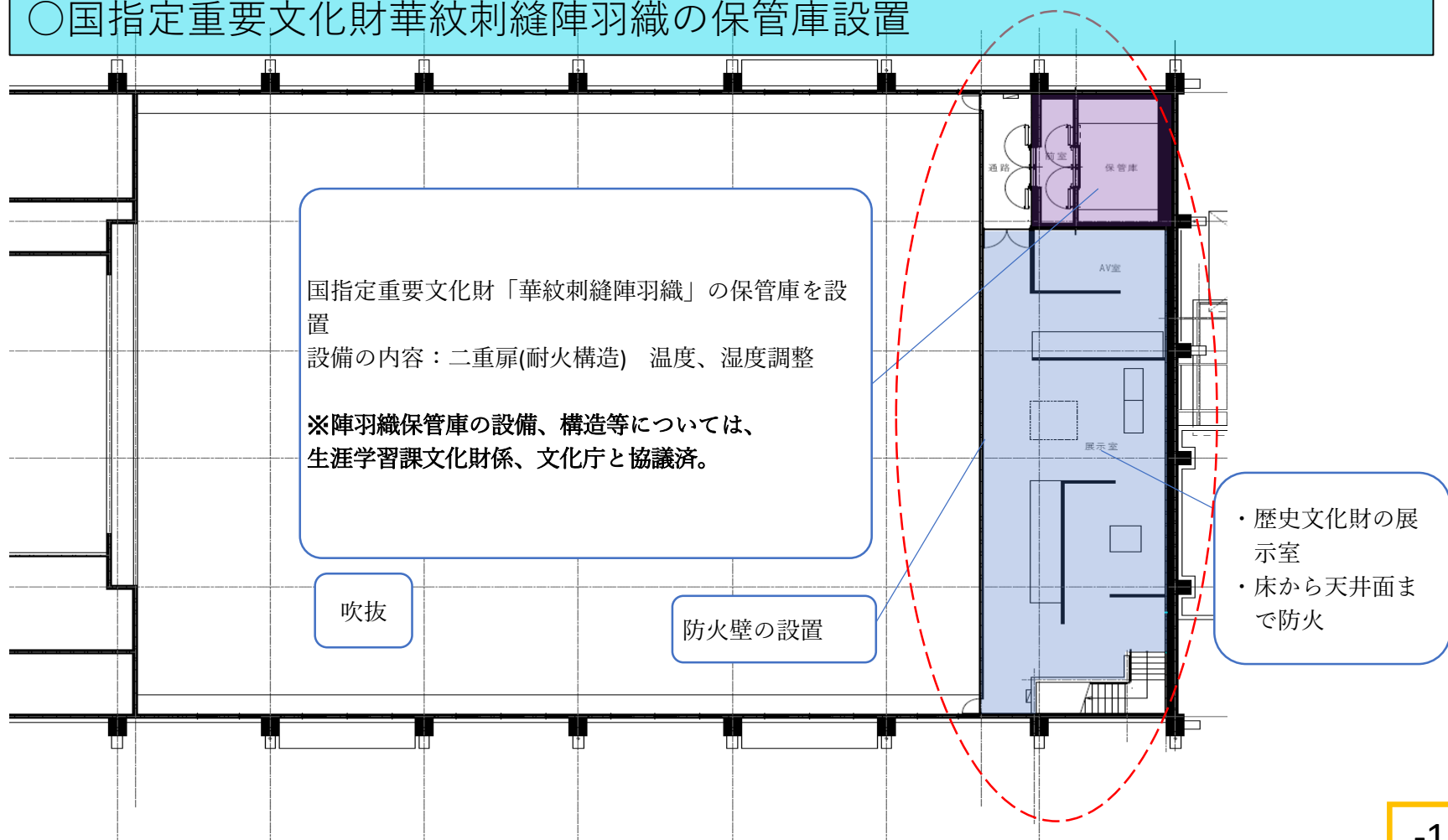
○1 階アリーナ部分を社会体育施設、1 階倉庫部分を社会体育備品等の保管として継続利用できるよう検討を行うこと。

○朝倉市との連携により秋月街道宿場町として歴史を活かしたVRシアター等の体験ができる歴史資料館について検討すること。

○大隈地域のまち歩きのご案内も含めた常設ガイドの設置及び施設入館料について検討すること。

改修内容（2F）

- 歴史文化財の展示施室設置
- 防火区画の変更（防火壁の設置）
- 国指定重要文化財華紋刺縫陣羽織の保管庫設置



2階改修基本計画に沿った設計内容

○コンセプト、ストーリー性の確認について

- ・本基本計画で定めた展示コンセプト、展示ストーリーについて今後、市担当課及び関係者において協議を行いました。

○展示する資料等の仕分けについて

- ・体育館2階のスペースは約220㎡と限られていることから、展示する資料や文化財等の仕分けを展示コンセプトに応じて行いました。

○映像等の制作について

- ・映像製作する場合は、その内容について関係者と十分協議を行っています。

○まち歩きプログラムの開発について

- ・展示場については文化財等展示のコンセプトのみでなく、地域資源や観光スポットの案内も含めたガイドの配置の検討を行っています。

2階改修に伴う今後の検討事項について

○国指定重要文化財「華文刺縫陣羽織」の保管及び活用について、専門家の意見をふまえ検討すること。

○文化財展示施設と近隣の寺社・仏閣との連携による観光客の誘致及び地域振興について検討すること。

○展示計画については、関連するテーマに沿うストーリー性をもった文化財をできる限り多く有効活用できるよう検討すること。

展示内容

「黒田武士」をテーマとした歴史文化財の展示を想定



今後の施設活用について

施設活用のコンセプト

【多目的施設としての活用】

- 大隈城山校の教育活動として継続的な利用
- 1階アリーナは多目的ホールとしてイベント等にも活用
- 災害時の一時避難所としての活用
- 大規模災害時には公園、広場スペースを活かした広域防災拠点
- 地域の人々が集い、賑わいが生まれる、地域の活性化拠点

【展示施設としての活用】

- 嘉穂地域整備の方向性である観光・文化・歴史のコンセプトに沿った活用
- 情報発信及び観光促進拠点としての活用
- 黒田武士のコンセプトに沿った大隈地域の周辺寺社、酒造等のまち歩きによる観光客の誘致
- 黒田武士をテーマにした歴史文化財の展示

さらなる発展的な利活用について

1. 黒田武士をテーマにしたワークショップの開催

大隈町周辺の街並みを活かした観光振興策については、陣羽織はもとより麟翁寺に現存する母里太兵衛友信公の墓及び甲冑の見学、また益富城址を含めた回遊など一体的な大隈ルート観光と位置づけ、黒田家ゆかりの地」や「まち歩きマップ」など刊行物を作成し、麟翁寺の協力のもと誘客に取り組んできた。文化財とセットとした観光振興策で更なる地域活性化が期待できる。

今後は地域ワークショップを開催し、「ストーリー性を持った文化財活用を」との地域の意見に沿った大隈地域の今後のあり方について、黒田武士をテーマにしたまちづくりとした様々なイベント等を実施し、大隈地域でしか味わえない着地型観光による地方インバウンドの促進を促し、大隈地域の活性化につなげることを目的とする。

(1) 黒田武士歴史体験（大隈地域の町並みから益富城跡までの歴史散策）



(2) 黒田武士まっりの開催 (仮称)

①国指定重要文化財華文刺繍陣羽織の活用

年間50日の公開期間を利用して、陣羽織にまつわる大隈地区の歴史と一夜城伝説等の歴史を学び母里太兵衛や後藤又兵衛にまつわる史跡や寺社、益富城跡のルート案内解説付きで実施。また、黒田武士(母里太兵衛)名槍日本号呑み取りの逸話を題材に黒田武士(酒まつり)の合同開催。



出典：嘉麻市教育委員会

②手作り甲冑体験

甲冑づくりの体験教室を実施し、参加者全員で甲冑を着た武者行列や益富城跡での歴史体験イベントの実施によるまちおこし。



出典：京都新聞